



かたくり



令和2年度
第35号

2020.11.25

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

学び合う様子が見られた研究授業（3年・5年算数科）でした。

今年度最後の指導主事を招いての授業研究会（算数科）が、11月19日に行われました。授業を行ったのは3年生と5年生。どちらの学年も自分の考えを生き生きと表現する姿や友達の意見をしっかりと聞く姿が見られ、学び合い・かかわり合いが感じられる授業となりました。



【3年「重さのたんいとはかり方」】

今回は、身の回りにある物の重さを、1円玉やブロック、クリップ等を使って測定し、「何の〇個分」という数値で表すという授業でした。

子どもたちは、グループで協力しながら、天秤を使って測定し、「何の〇個分」を使って、数値で重さ比べをすることができました。

指導主事の先生からは「話し手を見て話すこと」や「協力して活動すること」など、学習規律がしっかりとしており、子どもたちが安心して学習に取り組むことができているとお褒めの言葉をいただきました。



子どもたちの気付きや考えが、声となってどんどん出てくる様子やその発言が繋がって、また、新しい思考へと変化していくなど、主体的に学習を進める子どもたちの姿がたくさん見られ、頼もしく感じました。

3年生の子どもたちの成長が感じられた一時間となりました。

【5年「面積の求め方を考えよう」】

5年生は、図形の性質に着目し、平行四辺形の面積の求め方を考え、説明をするという授業でした。

子どもたちは、平行四辺形の形を変えて、これまで学習したことのある長方形にして面積を求めることができなさをそれぞれが自力で解決していました。

その後、3人のグループでの意見交流では、ノートを指し示しながら自分の考えを伝えることができました。学級全体での学び合いでも、自分の考えについて、筋道を立てて堂々と発表する姿が見られました。

指導主事の先生からは、子どもたちがしっかりと見方・考え方を働かせて考え、説明することができていると評価していただきました。

5年生の授業からは、課題にしっかりと向き合い、難しいとされる説明にも意欲的に取り組む前向きな姿勢が見られました。今後も学び合いの授業に期待がもてそうです。

